

高槻市市民意識調査報告書

[中心市街地活性化、景観、環境、電子書籍、芥川緑地資料館、市政全般]

平成 24 年度

高槻市

目次

I. 調査概要	2
1. 調査目的	2
2. 調査項目	2
3. 調査方法・有効回答数	2
4. 集計に関して	2
II. 調査結果	4
1. 回答者の属性	4
2. 高槻市の中心市街地活性化について	9
3. 景観について	24
4. 環境について	32
5. 電子書籍について	65
6. 芥川緑地資料館（あくあぴあ芥川）について	79
7. 市政全般について	91
III. 資料	102
質問画面（属性に関する質問）	102
質問画面（本編に関する質問）	106

I . 調査概要

I. 調査概要

1. 調査目的

市民生活と市政の直面する重要課題等をテーマとして選び、これに対する市民の潜在的な声を的確に把握し、施策や事業の決定ならびに行政運営の基礎資料とする。

2. 調査項目

- (1) 高槻市の中心市街地活性化について
- (2) 景観について
- (3) 環境について
- (4) 電子書籍について
- (5) 芥川緑地資料館（あくあびあ芥川）について
- (6) 市政全般について

3. 調査方法・有効回答数

- | | |
|------------|---|
| (1) 調査地域 | 高槻市全域 |
| (2) 調査対象 | 民間調査会社に、インターネットモニター会員として登録している市内在住の20歳以上の男女個人 |
| (3) 調査方法 | インターネット調査
モニター登録会員のうち、市内在住者を対象に性別・年代別構成に配慮しながら、有効回答数1,100人を超えるまで各層のモニターに順次配信し回答を求めた。 |
| (4) 有効回答者数 | 1,322人 |
| (5) 調査期間 | 平成25年1月23日～平成25年2月8日 |

4. 集計に関して

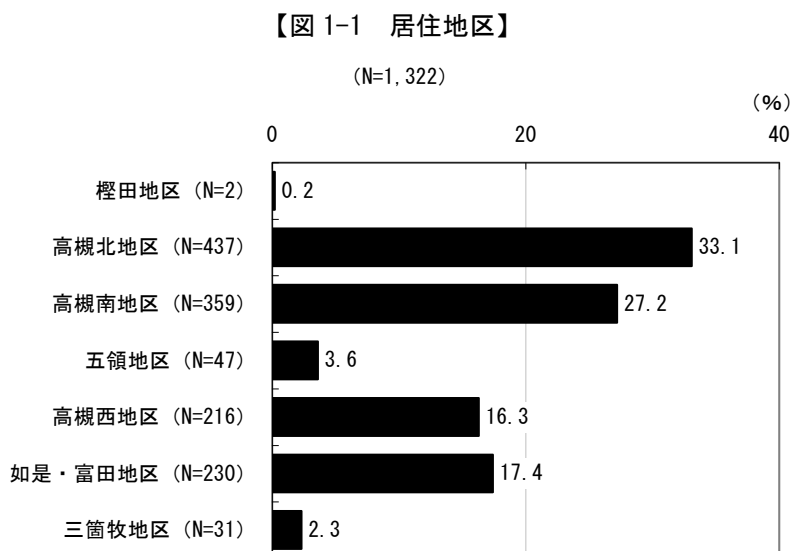
- (1) 図中のN (Number of case) は、設問に対する回答者数のことである。
- (2) 回答比率 (%) は回答者数 (N) を100%として算出し、小数点以下第2位を四捨五入して表示した。四捨五入の結果、内訳の合計が計に一致しないことがある。また、一人の対象者に複数の回答を求める設問では、回答比率 (%) の計は100.0%を超える。
- (3) 図中に次のような表示がある場合は、複数回答を依頼した質問である。
 - ・MA% (Multiple Answer) : 回答選択肢の中からあてはまるものをすべて選択する場合
 - ・3LA% (3 Limited Answer) : 回答選択肢の中からあてはまるものを3つ以内で選択する場合

II. 調查結果

II. 調査結果

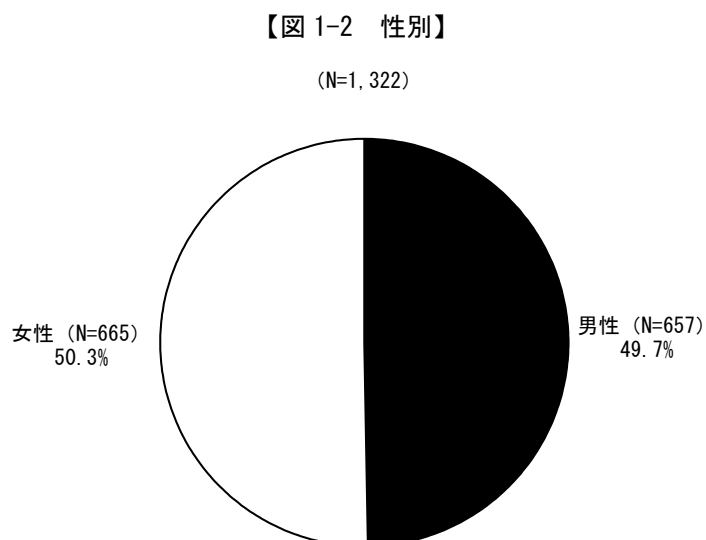
1. 回答者の属性

(1) 居住地区



居住地区をみると、「高槻北地区」が33.1%で最も高く、次いで「高槻南地区」が27.2%、「如是・富田地区」が17.4%、「高槻西地区」が16.3%と続いている。(図 1-1)

(2) 性別

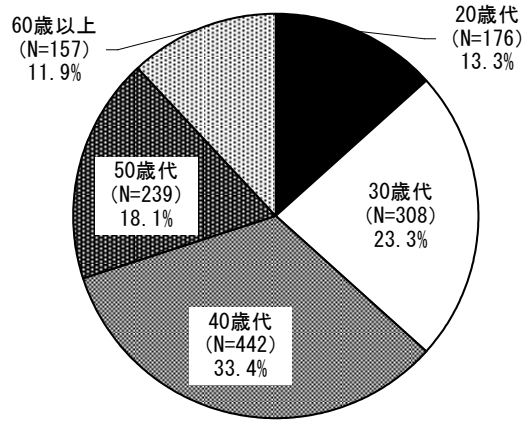


性別をみると、「男性」が49.7%、「女性」が50.3%でほぼ半数となっている。(図 1-2)

(3) 年代

【図 1-3 年代】

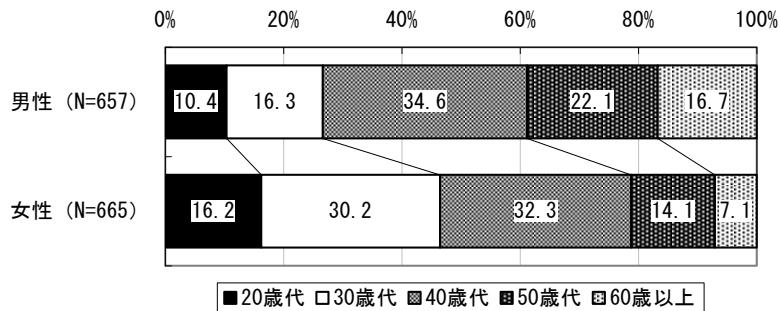
(N=1,322)



年代をみると、「40歳代」が33.4%で最も高く、次いで「30歳代」が23.3%、「50歳代」が18.1%と続いている。(図1-3)

年代を性別にみると、男性は女性に比べ40歳代以上の割合が高い(男性/73.4%、女性/53.5%)。一方、女性は男性に比べ30歳代以下の割合が高くなっている(男性/26.6%、女性/46.5%)。(図1-3-1)

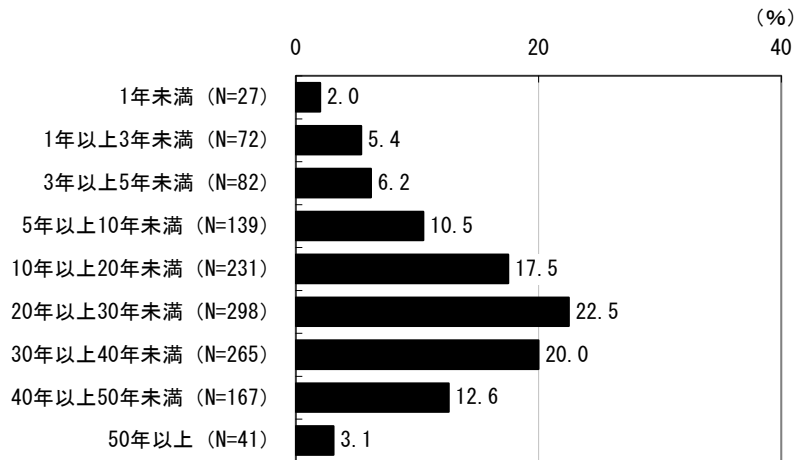
【図 1-3-1 性別 年代】



(4) 市内での通算居住年数

【図 1-4 市内での通算居住年数】

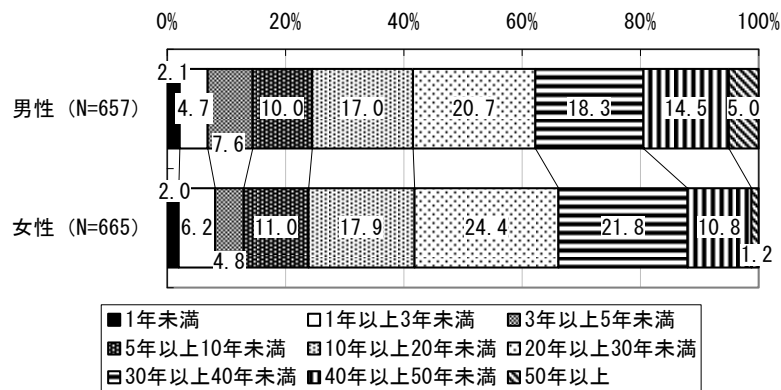
(N=1,322)



市内での通算居住年数をみると、「20年以上30年未満」が22.5%で最も高く、次いで「30年以上40年未満」が20.0%、「10年以上20年未満」が17.5%と続いている。(図1-4)

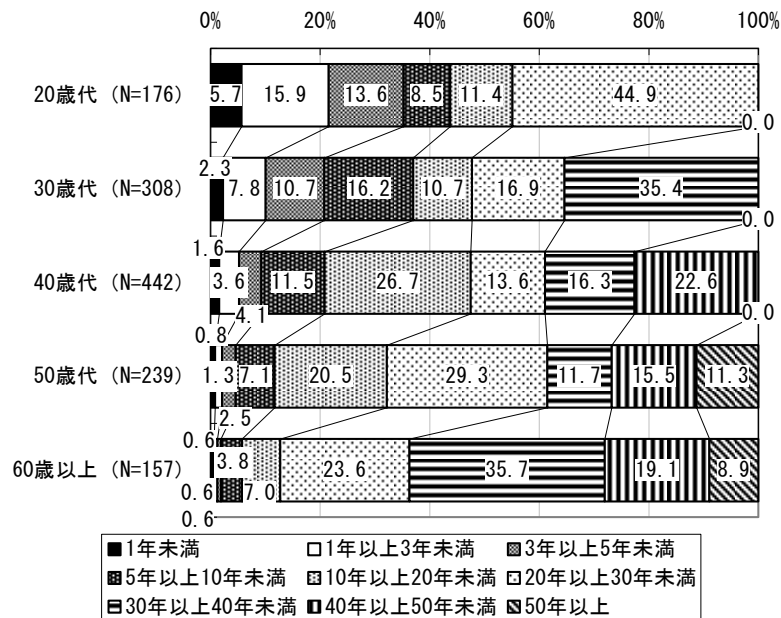
市内での通算居住年数を性別にみると、男女とも「20年以上30年未満」が最も高くなっており、男性(20.7%)に比べ女性(24.4%)の方が3.7ポイント上回っている。(図1-4-1)

【図 1-4-1 性別 市内での通算居住年数】



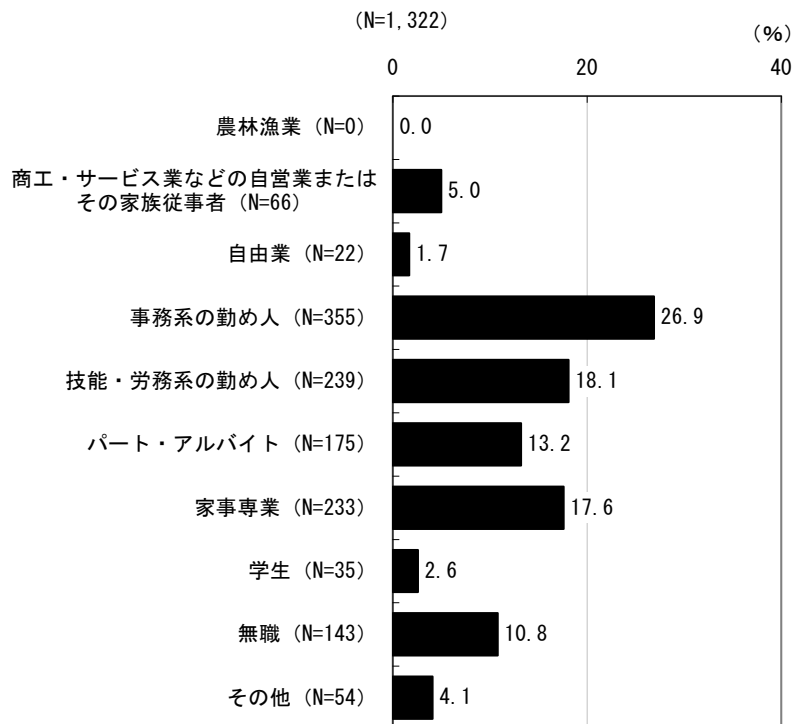
市内での通算居住年数を年代別にみると、20歳代、50歳代では「20年以上30年未満」の割合が最も高く、特に20歳代では4割以上を占めている(20歳代/44.9%、50歳代/29.3%)。30歳代、60歳以上では「30年以上40年未満」の割合が最も高くなっている(30歳代/35.4%、60歳以上/35.7%)。40歳代では「10年以上20年未満」の割合が26.7%で最も高くなっている。(図1-4-2)

【図1-4-2 年代別 市内での通算居住年数】



(5) 職業

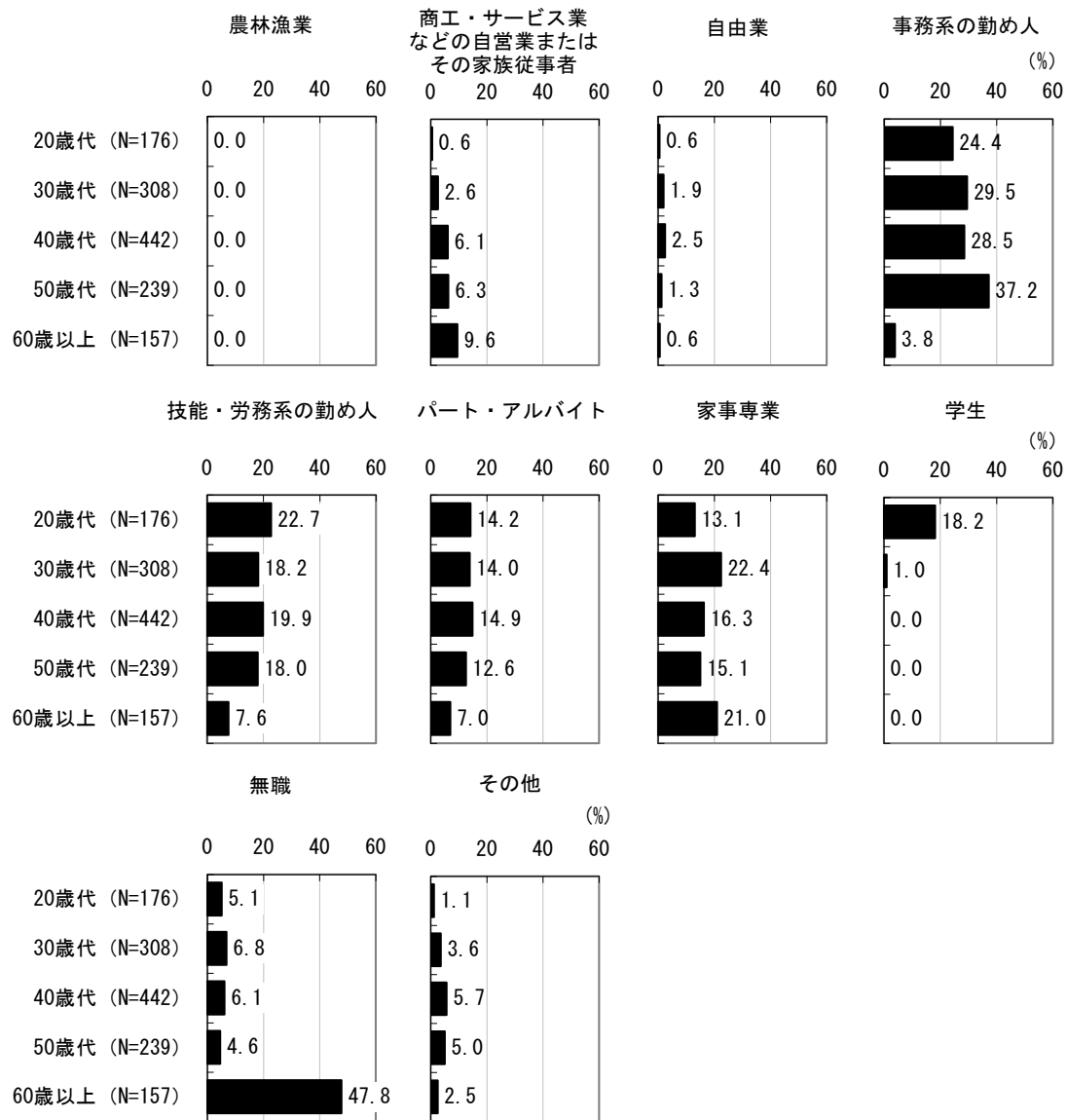
【図1-5 職業】



職業をみると、「事務系の勤め人」が26.9%で最も高く、次いで「技能・労務系の勤め人」が18.1%、「家事専業」が17.6%と続いている。(図1-5)

職業を年代別にみると、20歳代から50歳代で「事務系の勤め人」の割合が高くなっている（20歳代／24.4%、30歳代／29.5%、40歳代／28.5%、50歳代／37.2%）。60歳以上では「無職」（47.8%）の割合が高い。（図1-5-1）

【図1-5-1 年代別 職業】



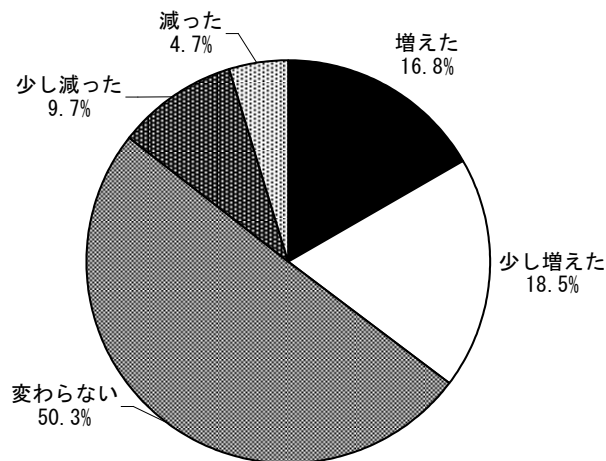
2. 高槻市の中心市街地活性化について

(1) 中心市街地訪問頻度

問 1 あなたが中心市街地へ行く頻度は、以前（3年くらい前）と比べて増えましたか。

【図 2-1 中心市街地訪問頻度】

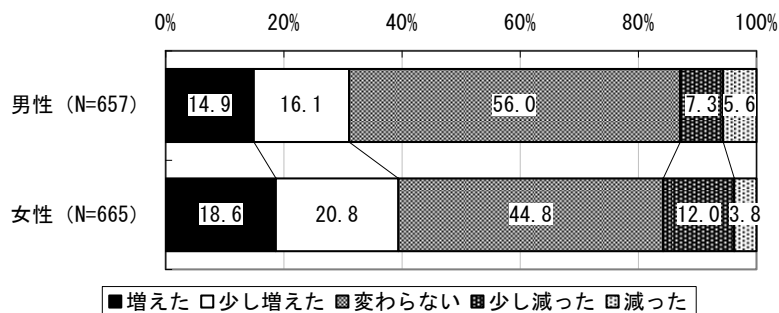
(N=1,322)



中心市街地の訪問頻度をみると、「変わらない」が50.3%で最も高く、次いで「少し増えた」が18.5%、「増えた」が16.8%と続いている。「変わらない」がほぼ半数を占め、「増えた」（「増えた」と「少し増えた」を合わせた割合）が35.2%、「減った」（「減った」と「少し減った」を合わせた割合）が14.4%となっている。（図 2-1）

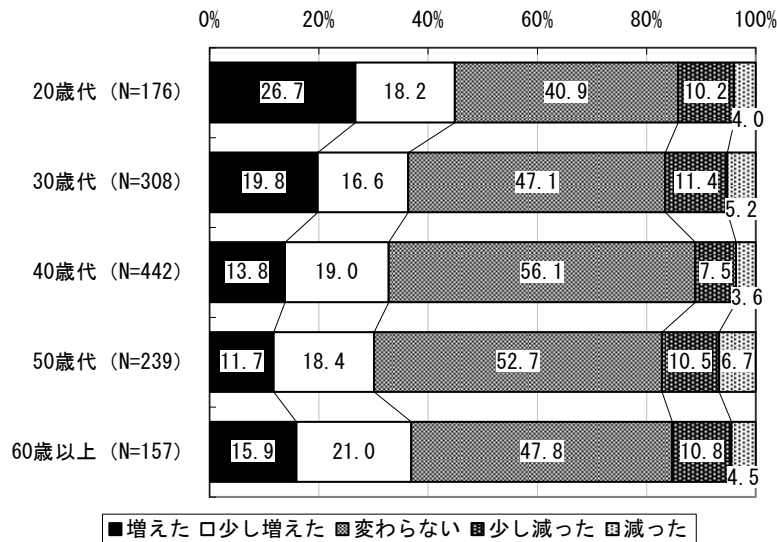
市街地の訪問頻度を性別にみると、「増えた」の割合は、男性（31.1%）に比べ女性（39.4%）の方が高く、また「減った」の割合も男性（12.9%）に比べ女性（15.8%）の方が高くなっている。（図 2-1-1）

【図 2-1-1 性別 中心市街地訪問頻度】



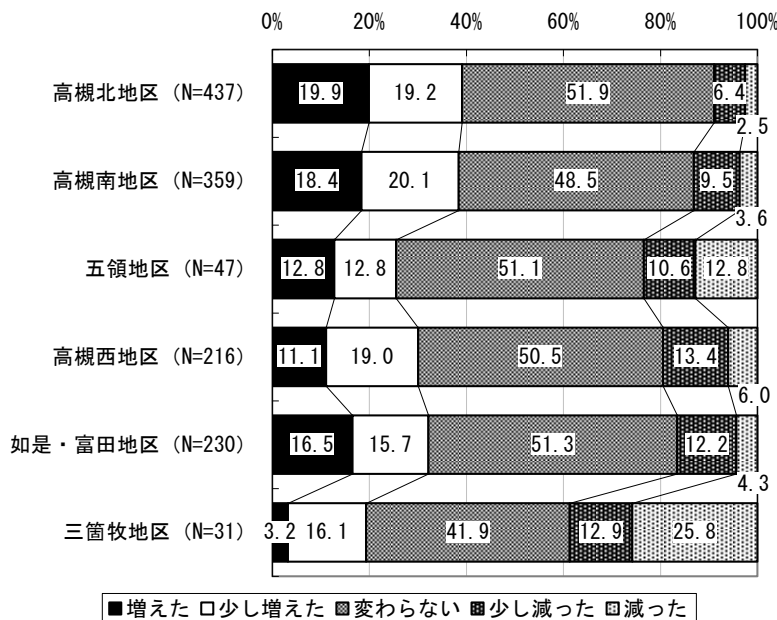
市街地の訪問頻度を年代別にみると、20歳代で”増えた”の割合が44.9%と、他の年代よりも高くなっている。”増えた”の割合が最も低かった50歳代では、”減った”の割合が17.2%と、他の年代よりも高くなっている。(図2-1-2)

【図2-1-2 年代別 中心市街地訪問頻度】



市街地の訪問頻度を居住地区別にみると、高槻北地区で”増えた”の割合が39.1%と最も高くなっている。一方、”減った”の割合が高かったのは三箇牧地区で38.7%となっている。(図2-1-3)

【図2-1-3 居住地区別 中心市街地訪問頻度】

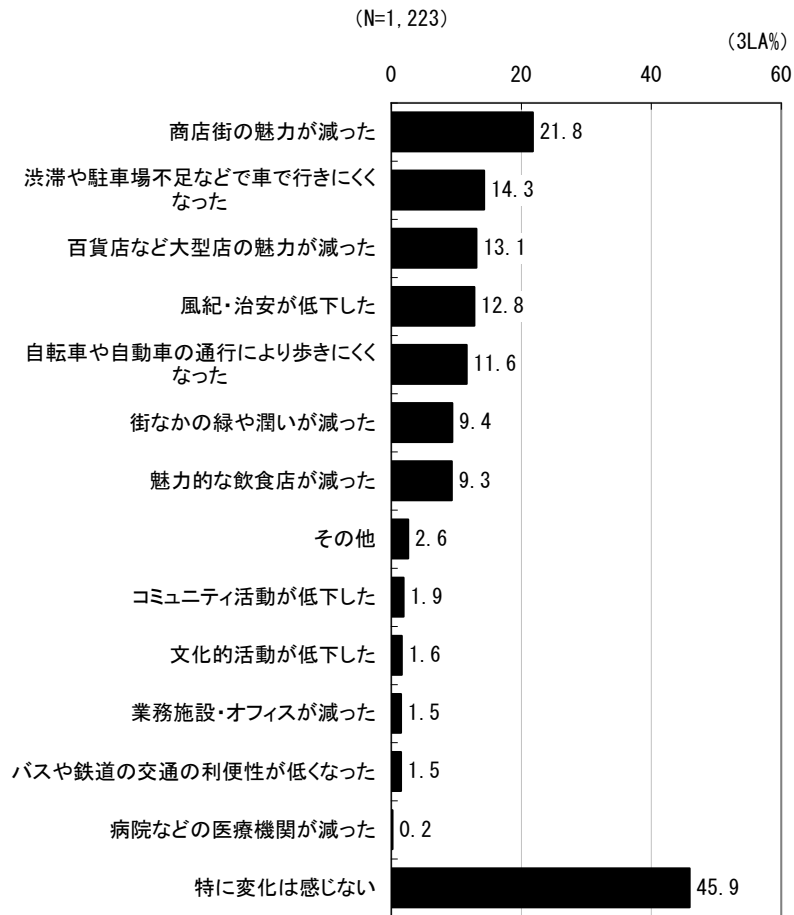


※檜田地区の回答者数は2人と少数であり、精度上の理由で調査結果に表示していない。

(2) 中心市街地の「衰退・悪化」したと感じる項目

問 2 高槻市の中心市街地について、あなたが以前（3年くらい前）と比べて、「衰退した・悪くなった」と感じることは何ですか。（3つまで）

【図 2-2 中心市街地の「衰退・悪化」したと感じる項目】



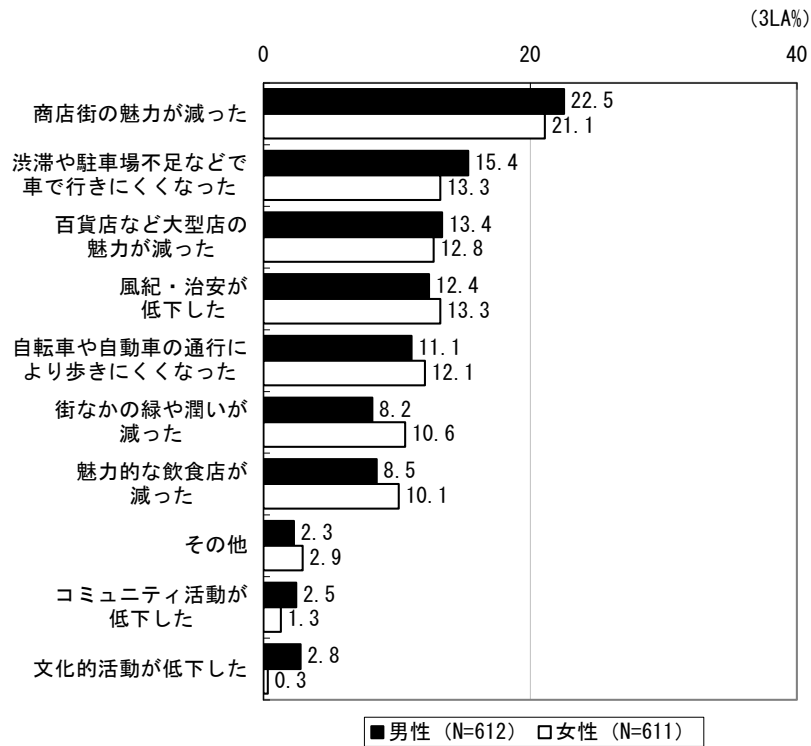
※全体スコアの降順でソート

中心市街地について、3年前と比較して「衰退した・悪くなった」と感じる項目をみると、「特に変化は感じない」が4割以上の45.9%で最も高くなっている。

変化を感じた項目でみると、「商店街の魅力が減った」が21.8%となっており、次いで「渋滞や駐車場不足などで車で行きにくくなった」が14.3%、「百貨店など大型店の魅力が減った」が13.1%で続いている。（図 2-2）

中心市街地について、3年前と比較して「衰退した・悪くなった」と感じる上位10項目を性別で見ると、男女ともに「商店街の魅力が減った」の割合が最も高くなっている（男性／22.5%、女性／21.1%）。また、「風紀・治安が低下した」、「自転車や自動車の通行により歩きにくくなった」、「街なかの緑や潤いが減った」、「魅力的な飲食店が減った」の4項目においては、男性よりも女性の方が、割合が高くなっている。（図2-2-1）

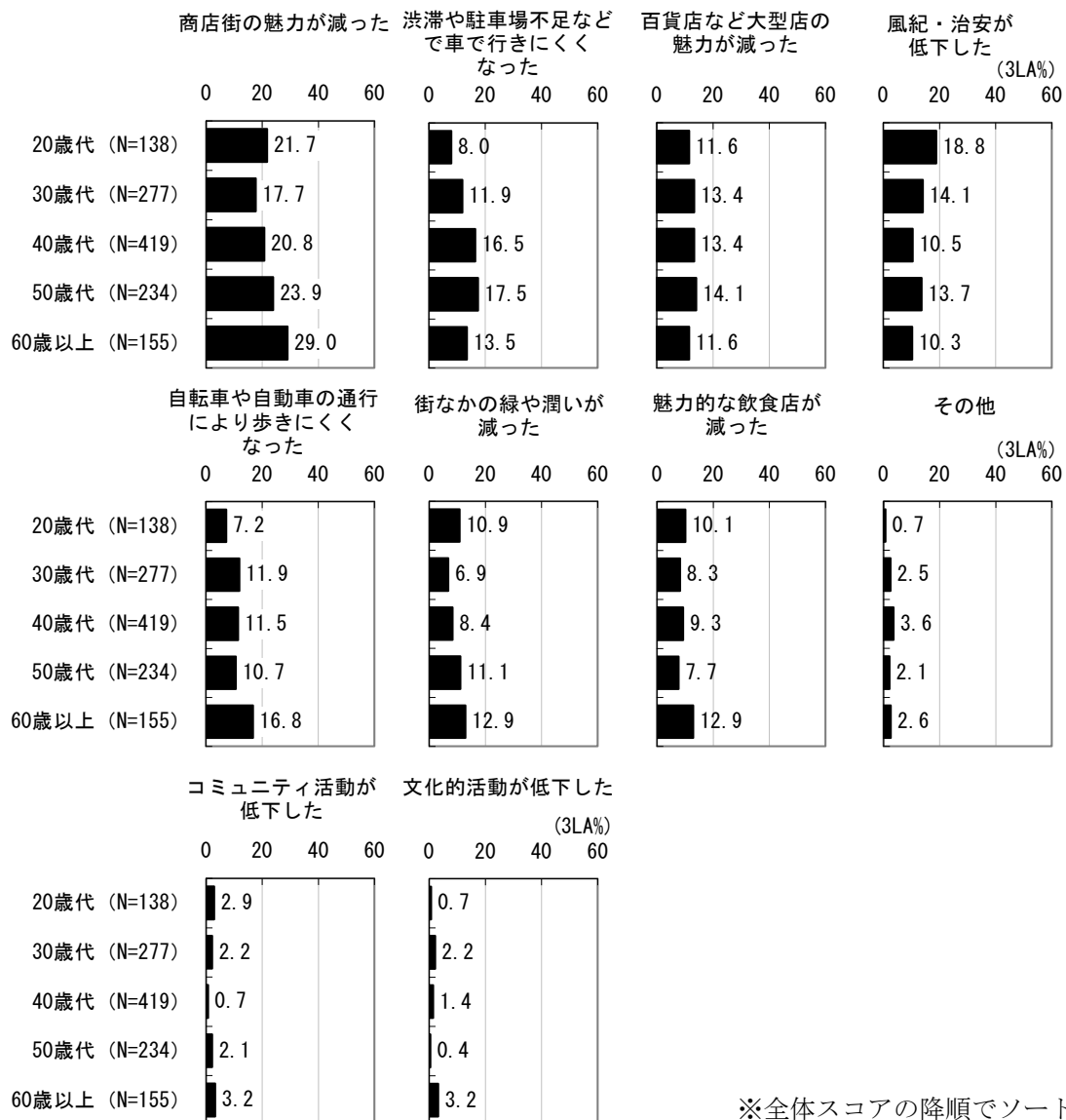
【図2-2-1 性別 中心市街地の「衰退・悪化」したと感じる項目（上位10項目）】



※全体スコアの降順でソート

中心市街地について、3年前と比較して「衰退した・悪くなった」と感じる上位10項目を年代別でみると、すべての年代で「商店街の魅力が減った」の割合が最も高く、30歳代(17.7%)以外では2割以上となっている。「商店街の魅力が減った」に次いで割合が高いのは、20歳代、30歳代では「風紀・治安が低下した」(20歳代/18.8%、30歳代/14.1%)、40歳代、50歳代では「渋滞や駐車場不足などで車で行きにくくなった」(40歳代/16.5%、50歳代/17.5%)、60歳以上では「自転車や自動車の通行により歩きにくくなった」(16.8%)となっている。(図2-2-2)

【図2-2-2 年代別 中心市街地の「衰退・悪化」したと感じる項目(上位10項目)】



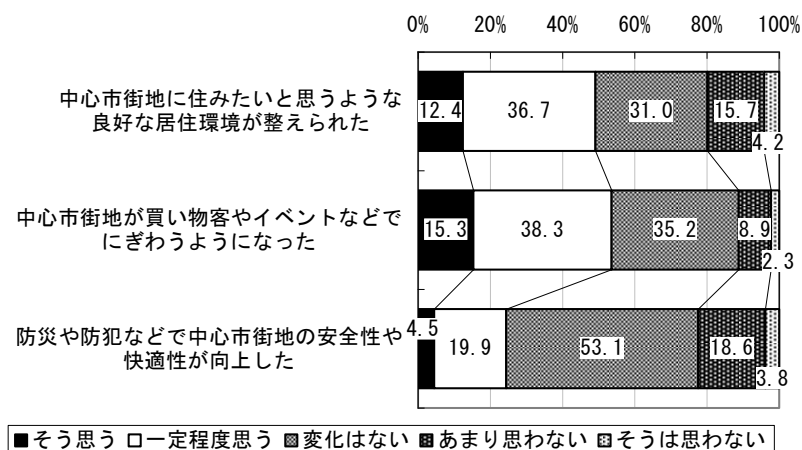
※全体スコアの降順でソート

(3) 中心市街地活性化の評価

問 3 各項目について、あなたは以前（3年前くらい前）と比べてどのように評価されますか。

【図 2-3 中心市街地活性化の評価】

(N=1,223)



中心市街地活性化における『居住環境』、『買い物・イベント等による賑わい』、『安全性や快適性』の3項目について、3年前と比較した評価をそれぞれ聞いている。

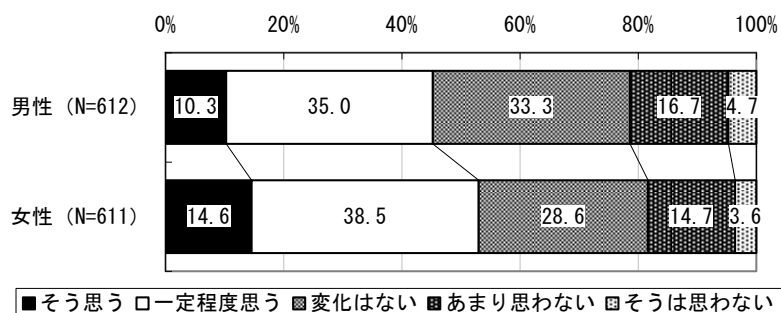
居住環境の評価をみると、中心市街地に住みたいと思う（「そう思う」と「一定程度思う」を合わせた割合）の割合は49.1%と、半数弱が良好な居住環境が整備されたと評価している。

買い物・イベント等による賑わいの評価をみると、「思う」の割合は53.6%となり、3項目の中では最も評価が高くなった。

安全性・快適性の評価をみると、「思う」の割合は24.4%で3項目の中では最も低くなっている。（図 2-3）

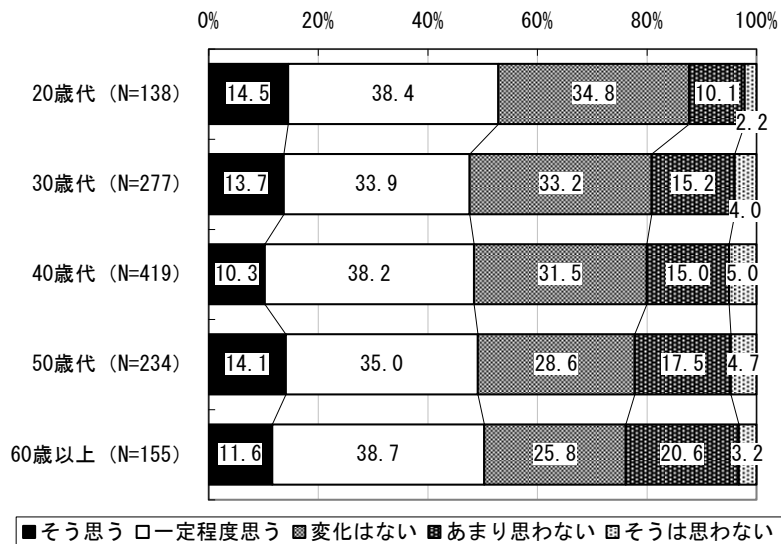
居住環境の評価を性別でみると、「思う」の割合は男性が45.3%、女性が53.0%で、男性よりも女性の方が評価が高くなっている。（図 2-3-1）

【図 2-3-1 性別 居住環境に対する評価】



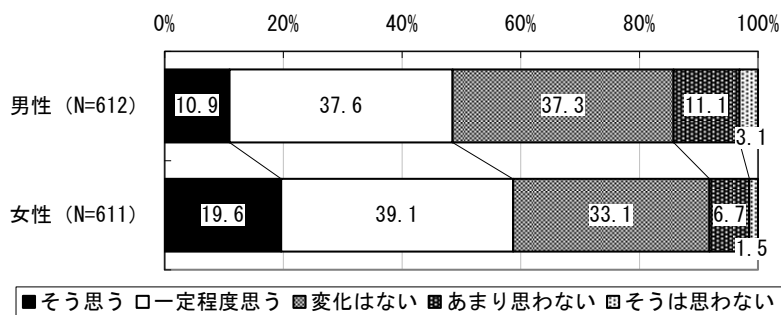
居住環境の評価を年代別でみると、「思う」の割合は20歳代が52.9%で最も高くなっている。30歳代から60歳以上での「思う」の割合はそれほど変化がないが、「思わない」（「あまり思わない」と「そうは思わない」を合わせた割合）の割合は、年代が上がるほど高くなっている。（図2-3-2）

【図 2-3-2 年代別 居住環境に対する評価】



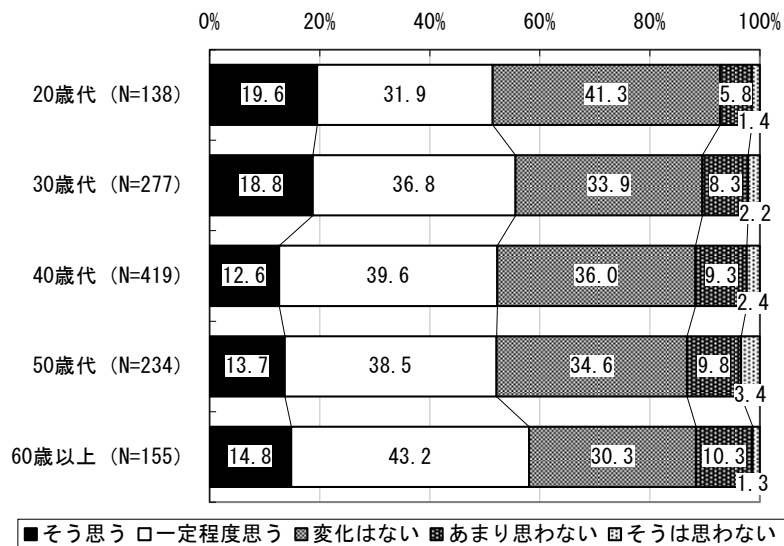
買い物・イベント等による賑わいの評価を性別でみると、「思う」の割合は男性が48.5%、女性が58.8%で、男性よりも女性の方で評価が高くなっている。（図2-3-3）

【図 2-3-3 性別 買い物・イベント等による賑わいに対する評価】



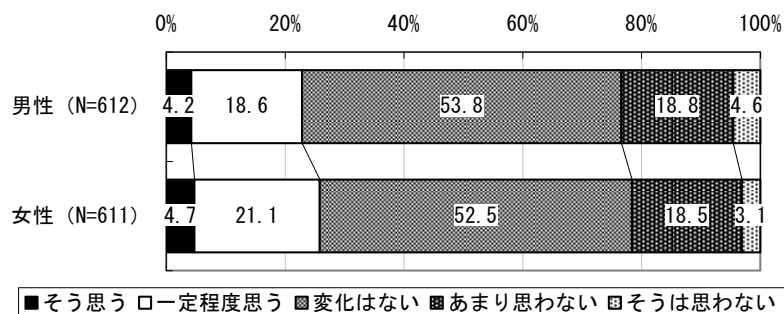
買い物・イベント等による賑わいの評価を年代別で見ると、「思う」の割合は60歳以上が58.1%で最も高くなっている。「そう思う」の割合では20歳代以上が2割弱となり、他の年代に比べて高くなっている。(図2-3-4)

【図2-3-4 年代別 買い物・イベント等による賑わいに対する評価】



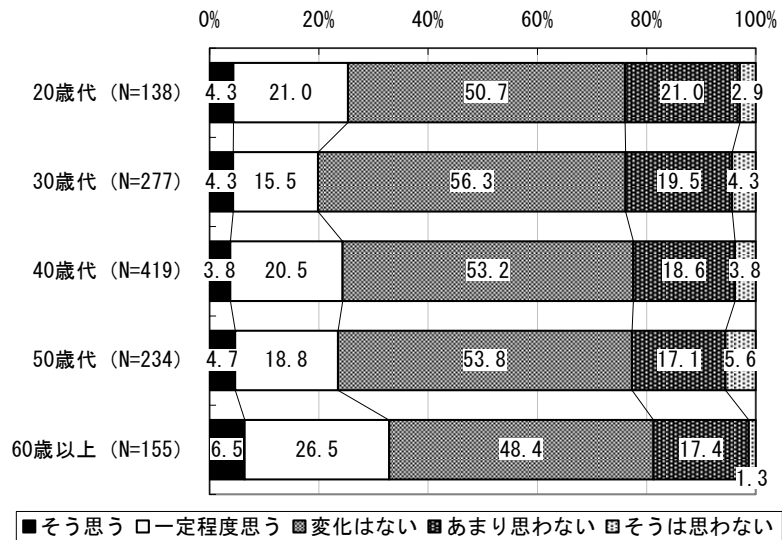
安全性・快適性の評価を性別で見ると、「思う」の割合は男性が22.9%、女性が25.9%で、男性よりも女性の方で評価が高くなっている。(図2-3-5)

【図2-3-5 性別 安全性や快適性に対する評価】



安全性・快適性の評価を年代別で見ると、「思う」の割合は60歳以上が32.9%で最も高くなっている。次いで20歳代が25.4%と続いているが、20歳代では「思わない」の割合が23.9%で最も高くなっている。(図2-3-6)

【図2-3-6 年代別 安全性や快適性に対する評価】

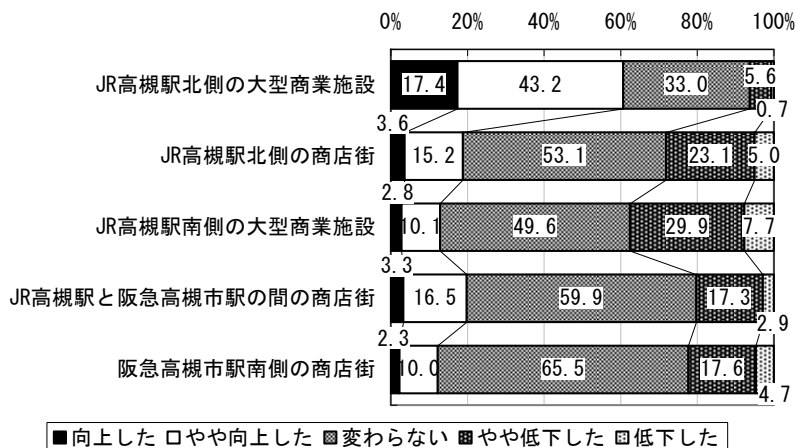


(4) 中心市街地の商業施設の魅力度

問 4 中心市街地の商業施設の「魅力」について、あなたは以前（3年くらい前）と比べてどのように感じですか。

【図 2-4 中心市街地の商業施設の魅力】

(N=1,223)



JR 高槻駅北側の大型商業施設 …… アクトアモーレ、西武百貨店など
 JR 高槻駅北側の商店街 …… 芥川商店街など
 JR 高槻駅南側の大型商業施設 …… 松坂屋、グリーンプラザなど
 JR 高槻駅と阪急高槻市駅間の商店街 … 高槻センター街など
 阪急高槻市駅南側の商店街 …… 阪急高槻南駅前通り、城北通商店街など

中心市街地の商業施設について、3年前と比較した魅力の変化をみると、「向上した」の割合は、JR 高槻駅北側の大型商業施設が 17.4%で他の施設に比べてかなり高くなっている。

「やや向上した」の割合も、「向上した」と同様に JR 高槻駅北側の大型商業施設が 43.2%で最も高くなっている。

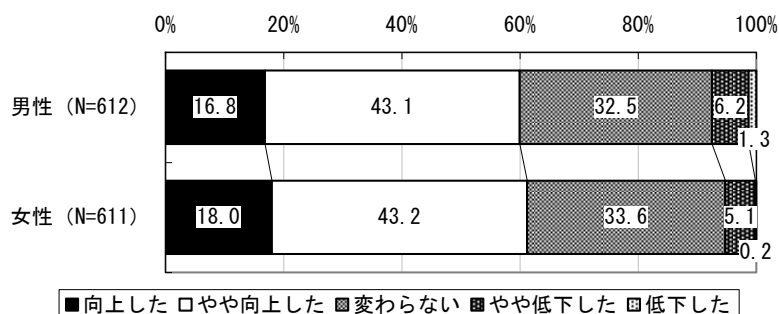
「変わらない」の割合は、阪急高槻市駅南側の商店街が 65.5%で最も高くなっている。

「やや低下した」の割合は、JR 高槻駅南側の大型商業施設が 29.9%で最も高くなっている。

「低下した」の割合は、「やや低下した」と同様に JR 高槻駅南側の大型商業施設が 7.7%で最も高くなっている。(図 2-4)

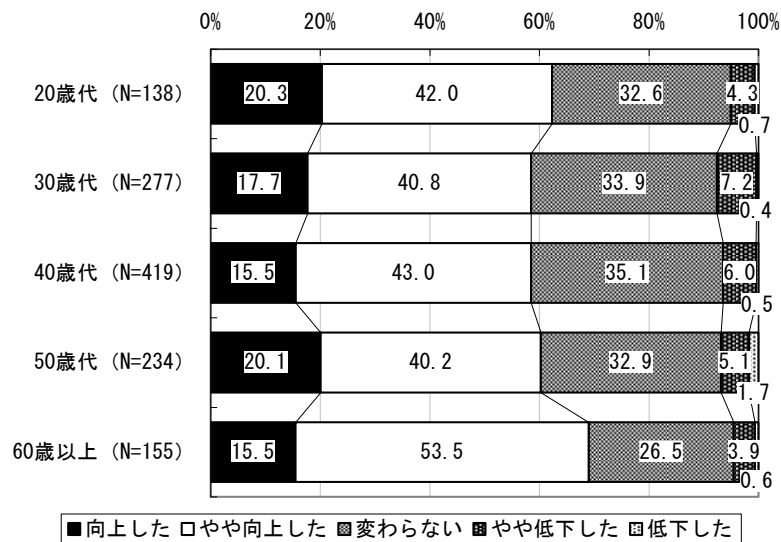
『JR 高槻駅北側の大型商業施設』の魅力度について性別でみると、「向上」（「向上した」と「やや向上した」を合わせた割合）の割合は男性が 60.0%、女性が 61.2%で非常に高く、ともに 6割以上となっている。(図 2-4-1)

【図 2-4-1 性別 中心市街地の商業施設の魅力：JR 高槻駅北側の大型商業施設】



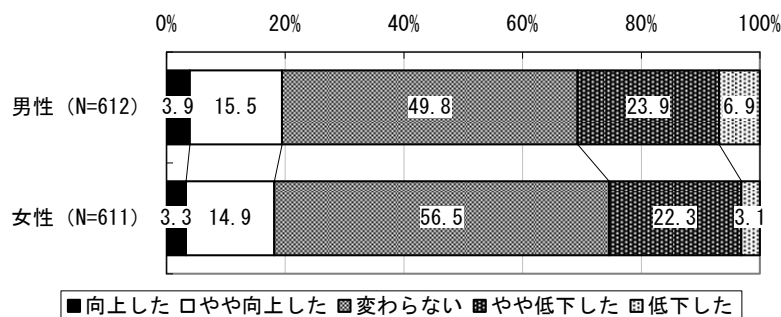
『JR 高槻駅北側の大型商業施設』の魅力度について年代別でみると、「向上」の割合は60歳以上が69.0%で最も高くなった。次いで20歳代が62.3%となっており、「向上」の割合が低い30歳代、40歳代（ともに58.5%）でも半数を超えている。「向上した」の割合では、20歳代が20.3%と最も高くなっている。（図2-4-2）

【図2-4-2 年代別 中心市街地の商業施設の魅力：JR 高槻駅北側の大型商業施設】



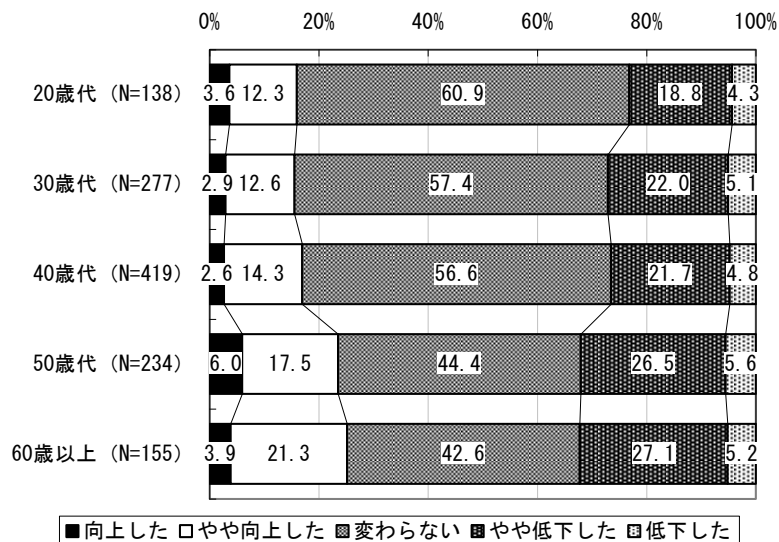
『JR 高槻駅北側の商店街』の魅力度について性別でみると、「向上」の割合は男性が19.4%、女性が18.2%で、それほど差異はないが、「低下」（「やや低下した」と「低下した」を合わせた割合）の割合では、男性が30.7%、女性が25.4%で、男性の方が5.3ポイント上回っている。（図2-4-3）

【図2-4-3 性別 中心市街地の商業施設の魅力：JR 高槻駅北側の商店街】



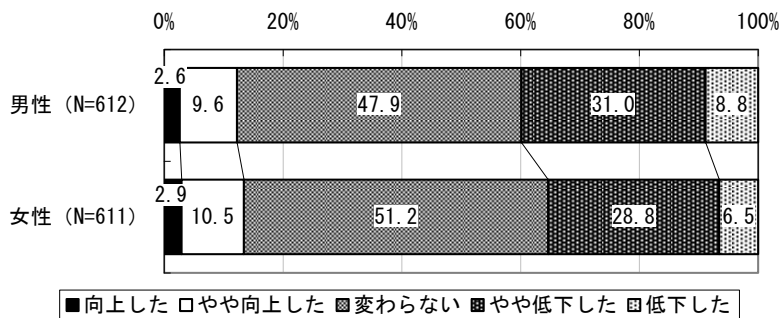
『JR 高槻駅北側の商店街』の魅力度について年代別でみると、“向上”の割合は60歳以上が25.2%で最も高くなった。“低下”の割合も60歳以上が32.3%で最も高く、年代が上がるにつれて“向上”、“低下”の割合が高くなる傾向にある。(図 2-4-4)

【図 2-4-4 年代別 中心市街地の商業施設の魅力：JR 高槻駅北側の商店街】



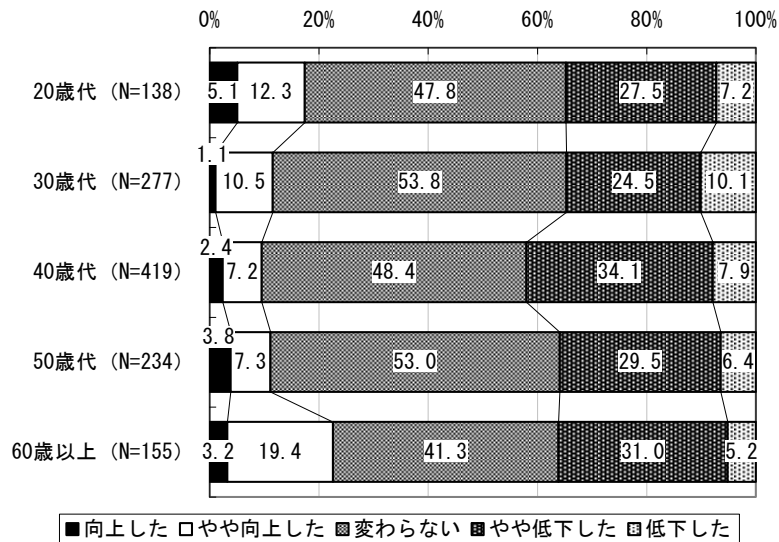
『JR 高槻駅南側の大型商業施設』の魅力度について性別でみると、“向上”の割合は男性が12.3%、女性が13.4%で、それほど差異はないが、“低下”の割合では、男性が39.9%、女性が35.4%で、男性の方が4.5ポイント上回っている。(図 2-4-5)

【図 2-4-5 性別 中心市街地の商業施設の魅力：JR 高槻駅南側の大型商業施設】



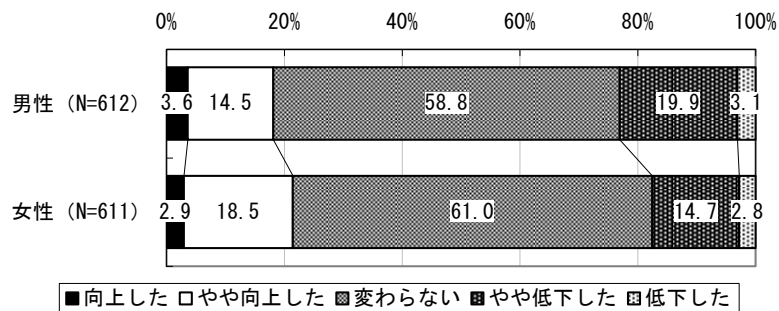
『JR 高槻駅南側の大型商業施設』の魅力度について年代別でみると、“向上”の割合は60歳以上が22.6%で最も高くなった。“低下”の割合は40歳代が42.0%で最も高くなっている。(図2-4-6)

【図 2-4-6 年代別 中心市街地の商業施設の魅力：JR 高槻駅南側の大型商業施設】



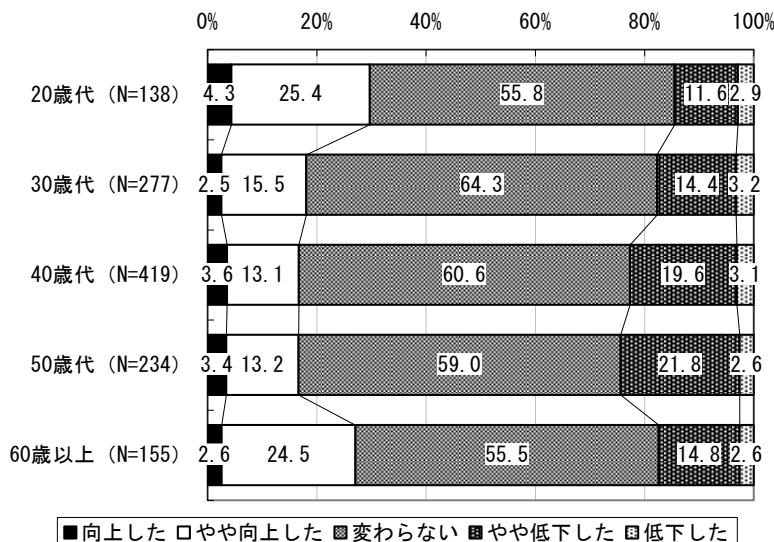
『JR 高槻駅と阪急高槻市駅間の商店街』の魅力度について性別でみると、“向上”の割合は男性が18.1%、女性が21.4%で、女性の方が3.3ポイント上回っている。“低下”の割合では、男性が23.0%、女性が17.5%で、男性の方が5.5ポイント上回っている。(図2-4-7)

【図 2-4-7 性別 中心市街地の商業施設の魅力：JR 高槻駅と阪急高槻市駅間の商店街】



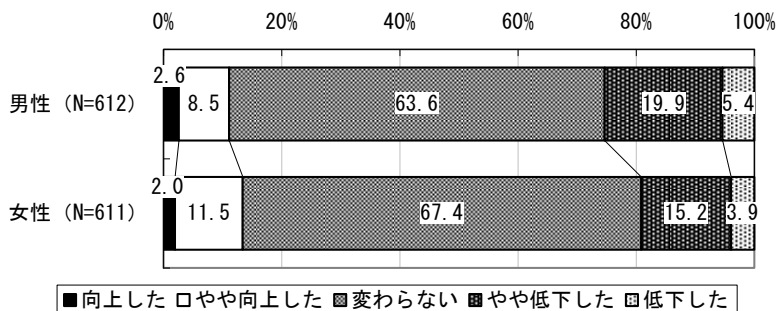
『JR 高槻駅と阪急高槻市駅間の商店街』の魅力度について年代別でみると、“向上”の割合は20歳代が29.7%で最も高くなった。“低下”の割合は50歳代が24.4%で最も高くなっている。(図2-4-8)

【図2-4-8 年代別 中心市街地の商業施設の魅力：JR 高槻駅と阪急高槻市駅間の商店街】



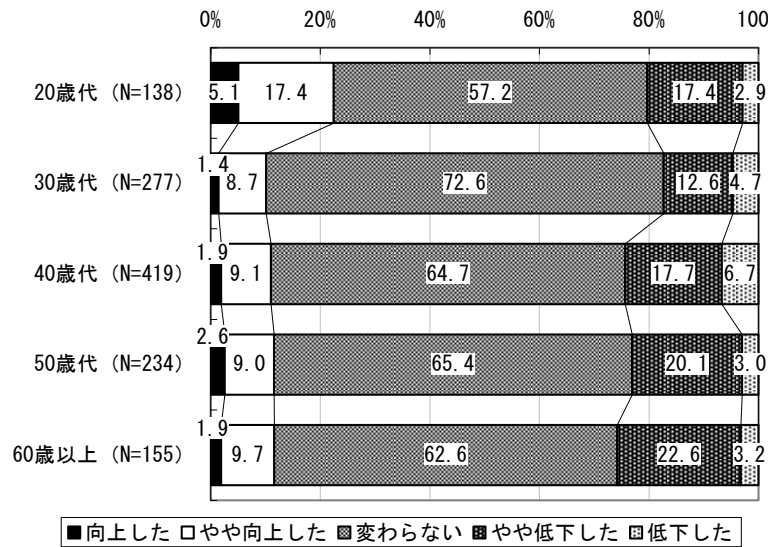
『阪急高槻市駅南側の商店街』の魅力度について性別でみると、“向上”の割合は男性が11.1%、女性が13.4%で、女性の方が2.3ポイント上回っている。“低下”の割合では、男性が25.3%、女性が19.1%で、男性の方が6.2ポイント上回っている。(図2-4-9)

【図2-4-9 性別 中心市街地の商業施設の魅力：阪急高槻市駅南側の商店街】



『阪急高槻市駅南側の商店街』の魅力度について年代別で見ると、“向上”の割合は20歳代が22.5%で最も高くなった。“低下”の割合は60歳以上が25.8%で最も高くなっている。(図2-4-10)

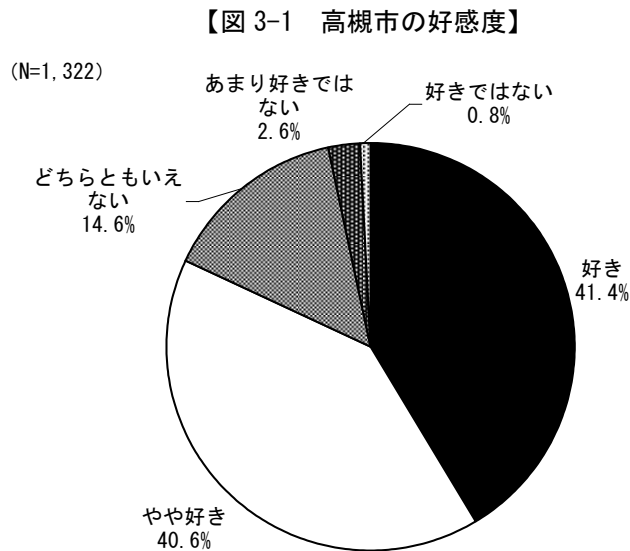
【図 2-4-10 年代別 中心市街地の商業施設の魅力：阪急高槻市駅南側の商店街】



3. 景観について

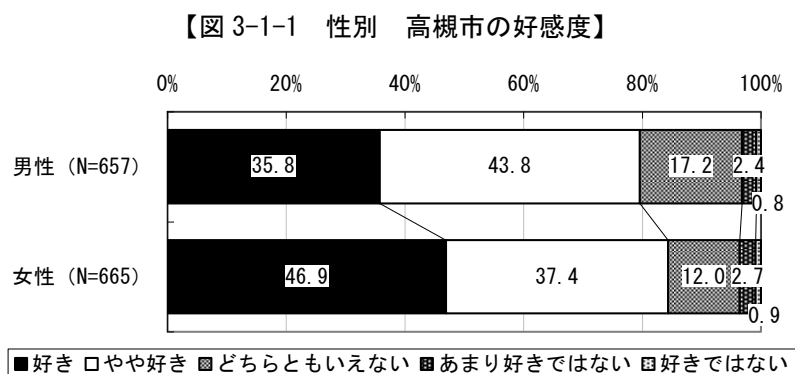
(1) 高槻市の好感度

問 5 あなたは高槻市がどのくらい好きですか。



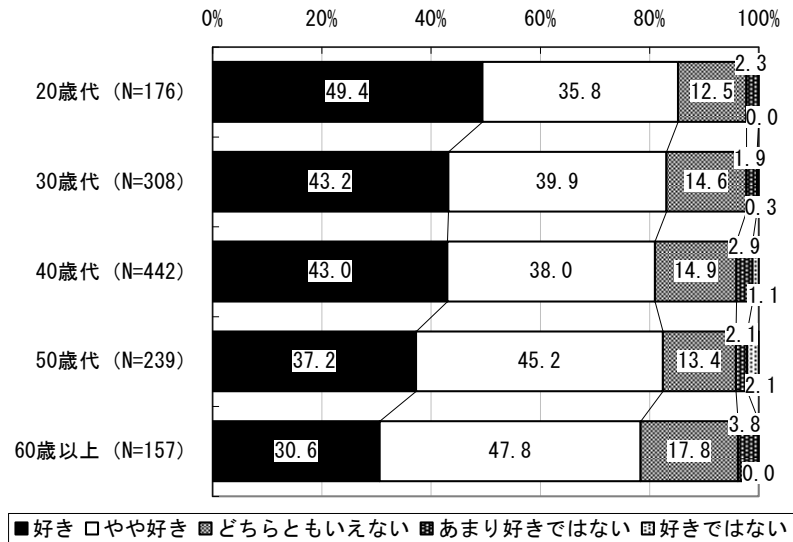
高槻市の好感度をみると、「好き」（「好き」と「やや好き」を合わせた割合）が82.0%となり、8割以上が高槻市に好感を持っている結果となった。対して、「嫌い」（「あまり好きではない」と「好きではない」を合わせた割合）は3.4%となった。（図 3-1）

高槻市の好感度を性別でみると、「好き」の割合は男性が79.6%、女性が84.4%で、女性の方が高くなっている。特に「好き」の割合では、男性の35.8%に対し女性は46.9%となり、男性を11.1ポイント上回っている。（図 3-1-1）



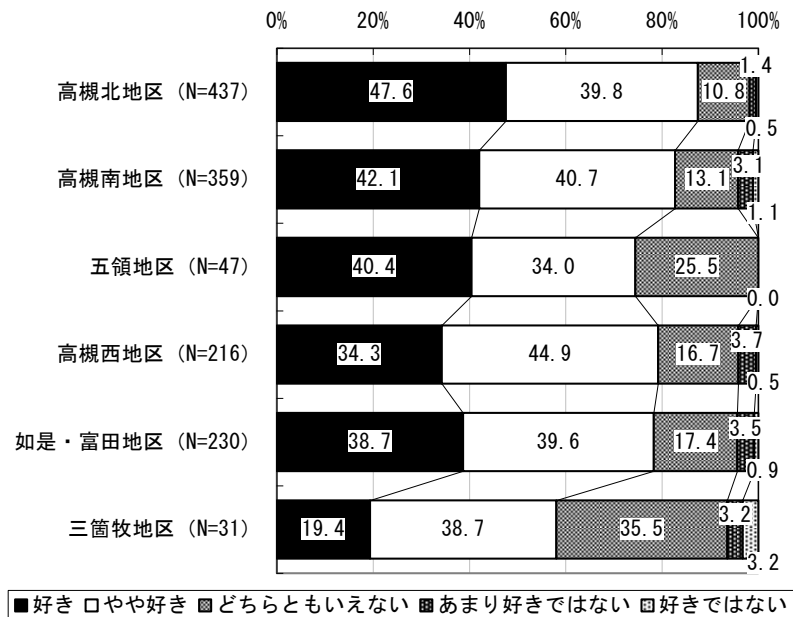
高槻市の好感度を年代別にみると、「好き」の割合は20歳代が85.2%で最も高くなった。20歳代から50歳代まででは8割以上となっており、60歳以上でも78.3%と非常に高くなっている。「嫌い」の割合はすべての年代でかなり低く、特に20歳代と60歳以上では0となっている。(図3-1-2)

【図3-1-2 年代別 高槻市の好感度】



高槻市の好感度を居住地区別にみると、「好き」の割合は高槻北地区が87.4%で最も高くなった。次いで高槻南地区が82.7%、高槻西地区が79.2%と続いている。「好き」の割合では、高槻北地区(47.6%)、高槻南地区(42.1%)、五領地区(40.4%)の3地域で4割を超えている。(図3-1-3)

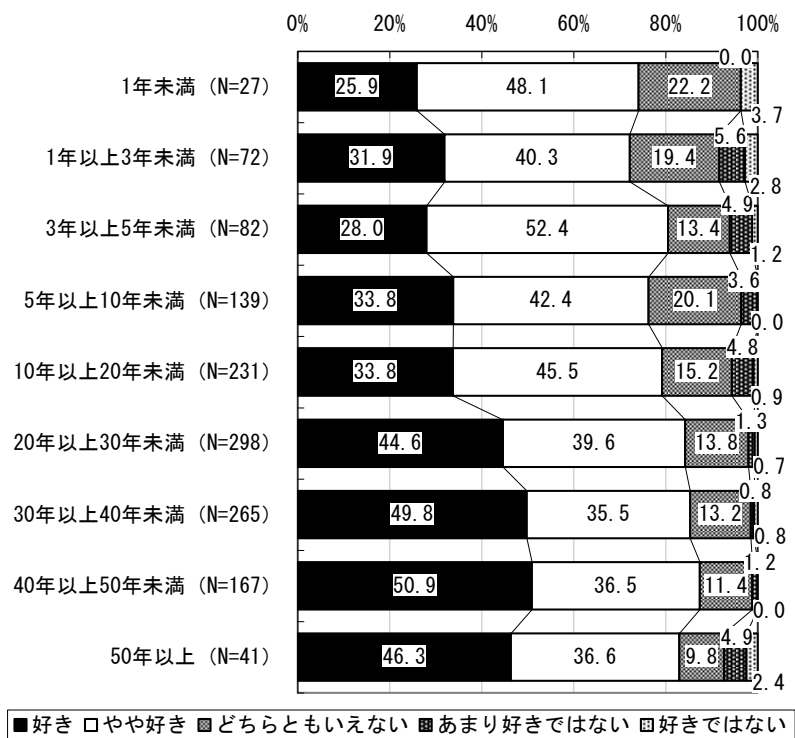
【図3-1-3 居住地区別 高槻市の好感度】



※樫田地区の回答者数は2人と少数であり、精度上の理由で調査結果に表示していない。

高槻市の好感度を居住年数別にみると、「好き」の割合は40年以上50年未満が87.4%で、最も高くなった。居住年数が増えるにつれ好感度も上がっていく傾向にある。(図3-1-4)

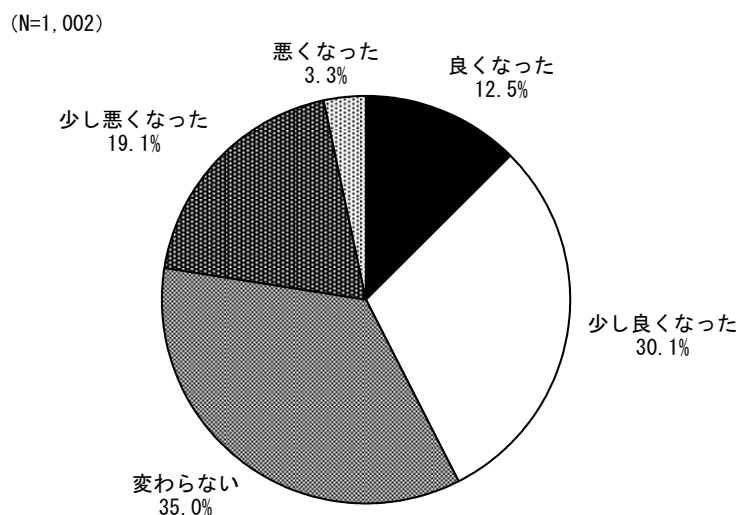
【図3-1-4 居住年数別 高槻市の好感度】



(2) 地域の風景の変化

問 6 あなたがお住まいの地域の風景は、10年前と比べてどのようになったと思いますか。

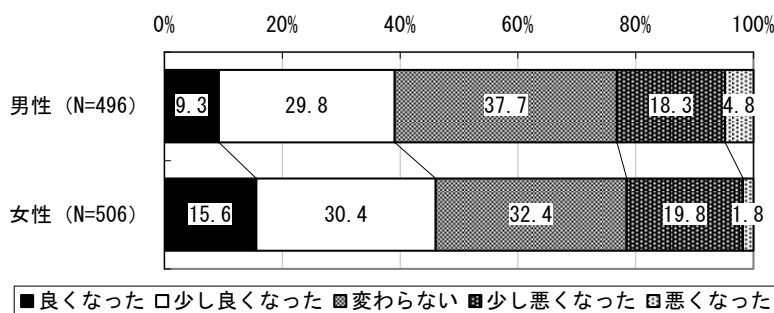
【図 3-2 地域の風景の変化】



地域の風景の変化をみると、「変わらない」が35.0%で最も高く、次いで「少し良くなった」が30.1%、「少し悪くなった」が19.1%と続いている。「良くなった」（「良くなった」と「少し良くなった」を合わせた割合）が42.6%となり、「悪くなった」（「少し悪くなった」と「悪くなった」を合わせた割合）の22.4%を20.2ポイント上回っている。（図 3-2）

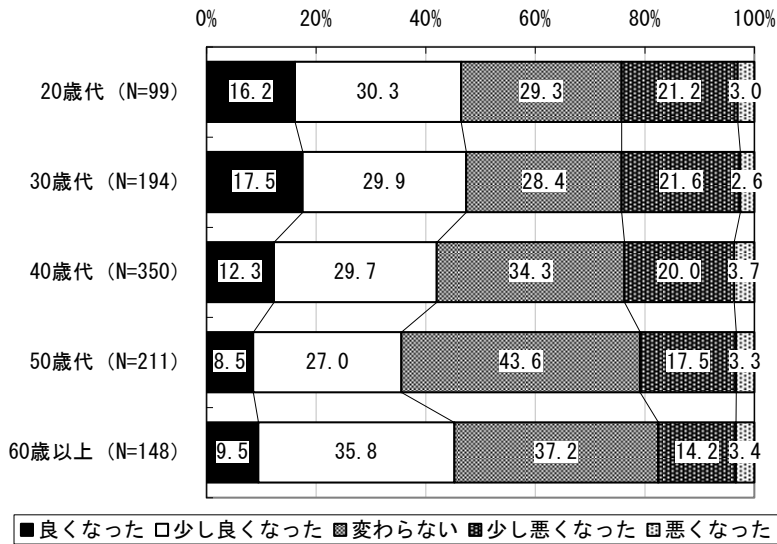
地域の風景の変化を性別でみると、「良くなった」の割合は、男性が39.1%、女性が46.0%となり、女性の方が高くなっている。一方、「悪くなった」の割合は、男性が23.2%、女性が21.5%となり、男性の方が高くなっている。（図 3-2-1）

【図 3-2-1 性別 地域の風景の変化】



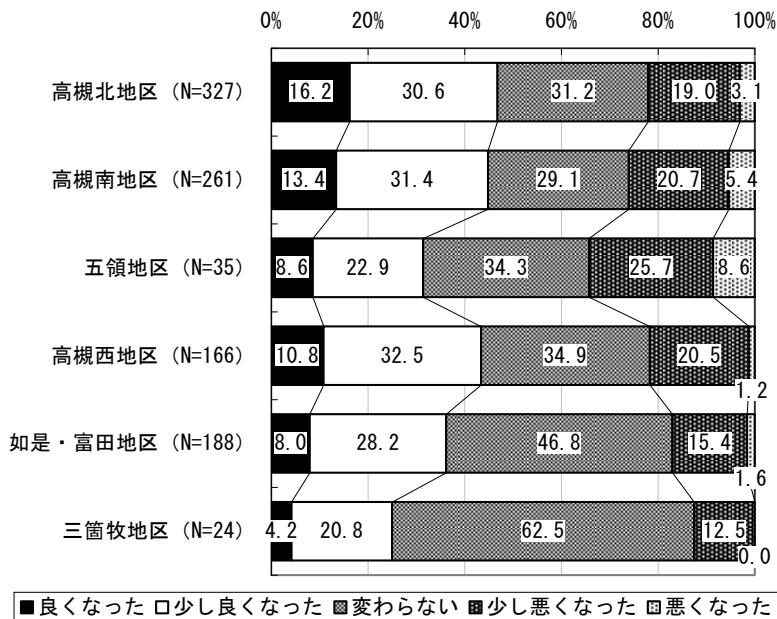
地域の風景の変化を年代別で見ると、「良くなった」の割合は、30歳代が47.4%で最も高くなった。次いで20歳代が46.5%、60歳以上が45.3%と続いている。「少し良くなった」の割合は60歳以上が最も高くなっており、「変わらない」の割合は50歳代が最も高くなっている。(図3-2-2)

【図3-2-2 年代別 地域の風景の変化】



地域の風景の変化を居住地区別で見ると、「良くなった」の割合は、高槻北地区が46.8%で最も高くなった。次いで高槻南地区が44.8%、高槻西地区が43.4%と続いている。「少し良くなった」の割合は高槻西地区が最も高くなっており、高槻南地区を除く他の地区では「変わらない」の割合が最も高くなっている。(図3-2-3)

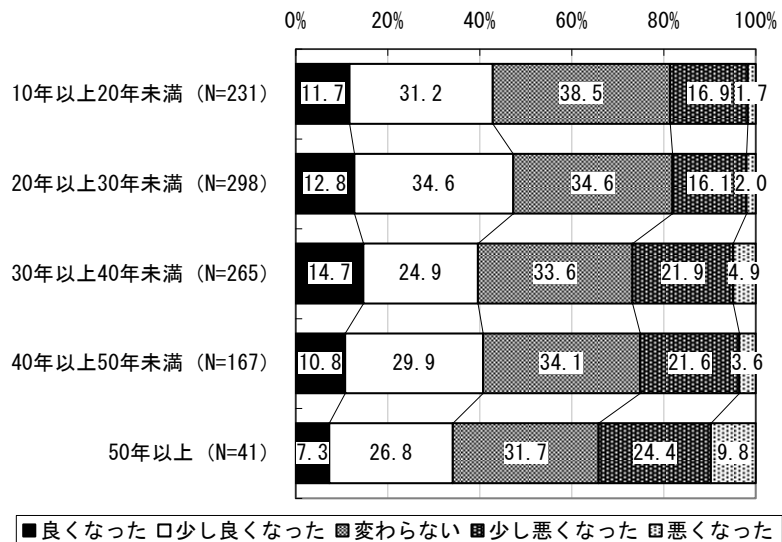
【図3-2-3 居住地区別 地域の風景の変化】



※樫田地区の回答者数は2人と少数であり、精度上の理由で調査結果に表示していない。

地域の風景の変化を居住年数別で見ると、「良くなった」の割合は、20年以上30年未満が47.3%で最も高くなった。次いで10年以上20年未満が42.9%、40年以上50年未満が40.7%と続いている。「少し良くなった」の割合は20年以上30年未満が最も高くなっており、その他の居住年数では「変わらない」の割合が最も高くなっている。(図3-2-4)

【図3-2-4 居住年数別 地域の風景の変化】

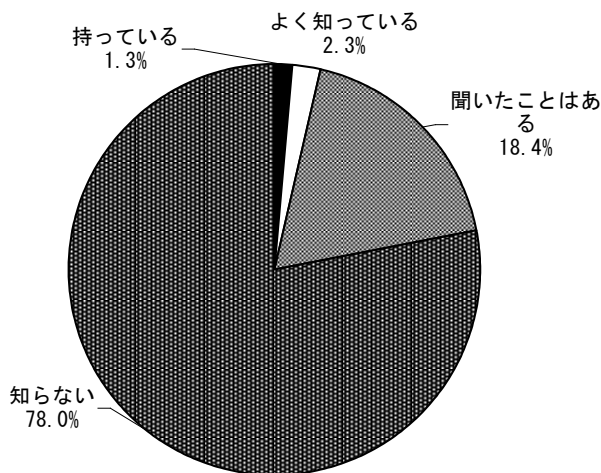


(3) 「高槻ええとこ Book」の認知度

問 7 市は、高槻の良好な景観の魅力を市内外にPRするため「高槻ええとこ Book」を作成しましたが、あなたはこの冊子をご存知ですか。

【図 3-3 「高槻ええとこ Book」の認知度】

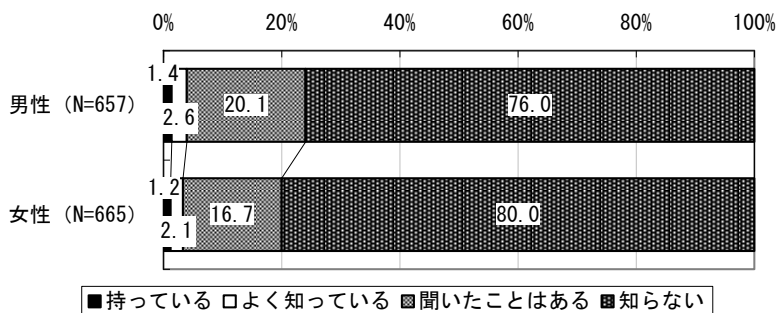
(N=1,322)



「高槻ええとこ Book」の認知度をみると、「知らない」が78.0%で最も高くなった。次いで「聞いたことはある」が18.4%、「よく知っている」が2.3%、「持っている」が1.3%と続いている。(図 3-3)

「高槻ええとこ Book」の認知度を性別にみると、「知らない」の割合は男性(76.0%)に比べて女性(80.0%)の方が4.0ポイント上回っており、「聞いたことがある」の割合では男性(20.1%)が女性(16.7%)を3.4ポイント上回っている。(図 3-3-1)

【図 3-3-1 性別 「高槻ええとこ Book」の認知度】



「高槻ええとこ Book」の認知度を年代別にみると、すべての年代で「知らない」の割合が高くなっており、50歳代が80.3%で最も高くなっている。「持っている」と「よく知っている」の割合では、20歳代（2.8%/3.4%）が最も高くなっており、「聞いたことはある」の割合では、60歳以上が26.8%で最も高くなっている。（図 3-3-2）

【図 3-3-2 年代別 「高槻ええとこ Book」の認知度】

